



BLS0 種子島コース

Advanced Life Support in Obstetrics (ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年に開発され、1993年にコース権利は American Academy of Family Physicians (AAFP - 米国家家庭医学会) によって認可された。現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了した。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約600名がALSOコースを修了した。参加者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、医学部生、そして救命救急士などであり、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わる可能性のある人たちがトレーニングできる場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOであり、今後日本で普及していくことを願ってやまない。

ここ数年、主に病院前産科救急を想定して、ALSOの前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースが、世界中で実験的におこなわれるようになった。それが、BLS0 (Basic Life Support in Obstetric) コースである。BLS0は交通事故などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調しており、特に産科救急に突然遭遇する可能性がある救急医、救急ナース、そして救急救命士を対象とした教育コースであると言える。コースは一日コース。少人数グループによる重要ワークショップは正常分娩、分娩第3期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇生法である。また筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれている。BLS0コースを受講し試験に合格した場合、参加者はAAFPとALSO-Japanが認定する5年間有効の認証を受けることができる。

セミナー：BLS0 コース

主催：へき地・離島周産期医療フォーラムin種子島実行委員会

共催：

開催場所：西之表消防署2階大会議室

日時：平成23年11月27日(日) 9:00～16:00(予定)

費用：15,000円

募集受講定員：15名程度

申込方法：E-mailでお申し込みください。

【記入事項】

- ① 名前（ふりがな）
- ② 名前ローマ字表記
- ③ 所属／役職（初期研修医の方は初期研修医と記入してください）
- ④ 住所
- ⑤ 電話番号（携帯電話）
- ⑥ PC メールアドレス

10月24日午前9時より受付開始です。10月31日締切ですが、定員になり次第、募集は終了いたしますのでご了承下さい。

E-mail(隠岐病院 加藤一郎)：machokato@oki-hospital.com

	Time	講義担当
受付	08:45-9:00(15)	
Intro.正常分娩	9:00-9:45(45)	加藤
肩甲難産	9:45-10:15(30)	伊達岡
NCPR講義 実技	10:25-10:45(20) 10:45-11:15(30)	伊藤
救急車内分娩	11:25-11:55(30)	加藤
昼食 ランチオン 妊婦蘇生	12:00-12:50(50)	伊達岡
妊婦の評価	12:50-13:20(30)	伊藤
産後大出血	13:20-14:00(40)	加藤
妊婦外傷	14:00-14:40(40)	新井
試験準備(写真撮影)	14:40-15:00(20)	
筆記試験 Mega Code	15:00-16:30(90)	